

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 03-212279

(43)Date of publication of application : 17.09.1991

(51)Int.Cl.

A63B 63/08

(21)Application number : 02-007971

(71)Applicant : SENOO KK

(22)Date of filing : 17.01.1990

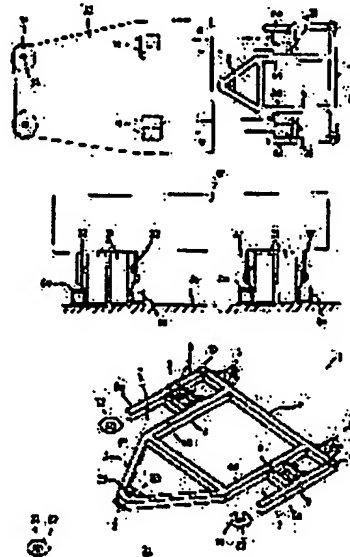
(72)Inventor : TAKAHASHI KENICHI
MITSUZAWA YASUO
OTSUKI YASUHIKO

(54) METHOD OF SETTING BASKET BED AND DEVICE FOR SETTING AND GUIDING SAME

(57)Abstract:

PURPOSE: To simply, rapidly and surely set a basket bed so as to reduce the labor for the setting work by embedding and fixing a fixture in a part where the basket bed is set, and coupling a frame to the fixture so as to allow the basket bed to come onto the frame in order to couple the basket plate with the frame.

CONSTITUTION: A setting and guiding device 1 is moved after screws 27 in floor fixtures 22 is loosened, and the floor fixtures 22, cylindrical parts 10 and through holes 29 are aligned with each other. Then, screws 27 are fastened so as to fix the setting and guiding device 1 to a floor surface. The floor surface 24 of a basket bed 30 is moved so as to move the setting and guiding device 1, and therefore, when rollers 31, 31 in the rear section thereof are led to wheel stoppers 8, 8 through guide parts 7, 7, the rim parts 32, 32 of the rollers 31, 31 come onto frames 4a, 6a on both sides of the guide parts 7, 7 so that the basket bed 30 is lifted from the floor surface 24. Screw shafts 34, 34 in outriggers 33, 33 which are located in corner parts of the basket be 30 are inserted in shaft holes in the cylindrical parts 10, 10 which are located in the corner parts of the setting and guiding device 1, and accordingly, the basket bed 30 is fixed to the setting and guiding device 1. Thereby the basket bed 30 can be fixed to an exact position.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C), 1998,2003 Japan Patent Office

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑪ 公開特許公報(A) 平3-212279

⑫ Int.Cl.³

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成3年(1991)9月17日

A 63 B 63/08

A 7040-2C

審査請求 有 願求項の数 2 (全9頁)

⑭ 発明の名称 バスケット台の設置方法及び設置案内装置

⑮ 特 願 平2-7971

⑯ 出 願 平2(1990)1月17日

⑰ 発 明 者 高 橋 謙 一 東京都千代田区神田司町2丁目7番地 セノー株式会社内
⑱ 発 明 者 光 沢 保 男 東京都千代田区神田司町2丁目7番地 セノー株式会社内
⑲ 発 明 者 大 橋 安 彦 東京都千代田区神田司町2丁目7番地 セノー株式会社内
⑳ 出 願 人 セノー株式会社 東京都千代田区神田司町2丁目7番地
㉑ 代 理 人 弁理士 志賀 富士弥 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

バスケット台の設置方法及び設置案内装置

2. 特許請求の範囲

(1) バスケットコートのゴール位置におけるバスケット台の設置位置に、予め少なくとも2点で会員を固定固定しておき、該会員にバスケット台の移動用装置の案内部を形成した枠体を着脱可能に連結し、該案内部に固定移動用装置を導いてバスケット台を枠体に固定させた後、該バスケット台と枠体とを連結することを特徴とするバスケット台の設置方法。

(2) 三角形と四角形を構成するフレームを四角フレームの一边を底辺として一体に形成し、該四角フレームの底辺部に四角形フレームを一体に形

成して四角フレームの側面にバスケット台の移動用のローラーが進入する案内部を形成し、該四角形フレームのコーナー部と前記三角フレームの頂点部にそれぞれ円筒体を一体に連結し、該円筒体に円筒形状と連結する突起を形成するとともに、該突起の先端に円筒形突出部を形成し、該円筒体はバスケットコートのゴール位置に設置した床会員と合致してバスケット台におけるアウトリガーのスクリュウシャフトを挿入できることを特徴とするバスケット台の設置案内装置。

3. 発明の有益な効果

実施上の利用分野

この発明はバスケット台の設置方法及び設置案内装置に関するものである。

従来の技術

バスケット競技に用いる移動式バスケット台は、体育館等の床面を転動するローラーを有して移動可能な支持台上に、前方へ向けたアームを立設し、そのアームの端部にボードを立設し、そのボードの中央部にリングを介してゴールネットを吊下し、多くはアームをコンパクトに折り畳むことができるように構成される。この移動式バスケット台は、支持台がアームを容易に転倒させないような構成であることを要し、ボードにバスケットボールが当たって衝撃を受け、又はバスケット競技中に競技者がリングに手を触れることがあってリングが下方へ押し下げられたような場合でも、バスケット台が全体として所のめりに転倒しないように、支持台はバランスウエイト等を有して重心がかなりあるとともに、構造が頑丈であるので、

その移動作業もかなり簡便で堅固なものである。さらに、この移動式バスケット台は、移動させた後、支持台に設けられたフックリガーを床面等に接触させて、支持台を確実に固定するように構成されている。

発明が解決しようとする課題

ところで、上記バスケット台を競技に用いるときは、ゴールネットをバスケットコートの正真正定の位置に取付しなければならない事はもちろんだが、上記移動式バスケット台の場合には、所定の位置までバスケット台を移動させた後、ゴールネットから張り糸を垂下させてバスケットコート上の位置を出し、それを測定して正確な位置になれば、さらにバスケット台を移動修正するという作業で時間のかかる作業が必要であった。そこ

-1-

で、バスケットコートの所定の位置にシール等を張っており、これに対応するバスケット台には目印をして、これを目印で合わせるにより正確な位置を出すようにし、又は、バスケットコートの所定位置に床金具を埋設しておき、この金具とバスケット台とを連結することにより位置決めをすることが行われて来た。しかしながら、バスケット台の位置はかなりあるので、これらの場合でも、バスケット台を前後左右へ何回も移動させて位置調整をする必要が生じて面倒であることは変わらない。

この発明は上記事情に鑑みて、前記のようにバスケット台の移動が容易に出来ないために、正確な位置設定には、非常に時間がかかる不具合を排除せんとしてなされた。

-1-

課題を解決するための手段

上記課題を解決するため、バスケットコートのゴール近傍におけるバスケット台の設置位置に、予め少なくとも三点で金具を埋設固定しておき、該金具にバスケット台の移動用車輪の移動案内部を形成した枠体を着脱可能に連結し、該移動案内部に前記移動用車輪を導いてバスケット台を枠体に乗り上げさせた後、該バスケット台と枠体とを連結することを特徴とするバスケット台の設置方法を構成するとともに、

三角形と四角形を構成するフレームを四角フレームの一辺を底辺として一体に形成し、該四角フレームの底辺部に田字形フレームを一体に連結して四角フレームの両側にバスケット台の移動用のローラーが導入する案内部を形成し、該田字形フ

-1-

-1-

レームのコーナー部と前記三角フレームの頂点部にそれぞれ円筒体を一体に連結し、該円筒体に円筒形穴と連通する雄孔を形成するとともに、該雄孔の端面に円筒形突出部を形成し、該円筒体はバスケットコートのゴール近傍に接続した床金具と合致してバスケット台におけるアウトリガーのスクリュウシャフトを挿入できるようにしたバスケット台の設置部内装置を構成した。

作 用

この発明の上記図式によれば、初めに設置部内装置をバスケットコートのゴール近傍に接続された床金具に固定して取り付け、ついで、その設置部内装置に向けてバスケット台を移動させ、その室内部にバスケット台の移動用車輪を導くと、移動用車輪は室内部に導かれて外体に乗り上げ、設置

部内装置の上に支持される。そこで、バスケット台のアウトリガーのスクリュウシャフトを円筒体の軸孔に挿入してバスケット台を設置部内装置に固定すると、バスケット台はゴール近傍の正確な位置に停止固定することになる。

実施例

本発明にかかる方法は、図1のように、バスケットコートのゴール近傍におけるバスケット台の設置部内に、予め少なくとも2点で床金具を増設固定しておき、床金具にバスケット台の移動用車輪の室内部を形成した枠体を前記可能に連結し、該枠体内に前記移動用車輪を導いてバスケット台を枠体に乗り上げさせた後、該バスケット台と枠体とを連結することにあるが、これは以下に記載する設置部内装置を説明することにより容易に理解で

-1-

きる。そこで、以下にこの発明にかかる設置部内装置の一実施例を図面に基づき説明する。

第1図は設置部内装置の斜視全体図で、図示のように、円筒形と三角形の結合形状の設置部内装置1は、断面が四角形のパイプ材からなり、三角フレーム2の頂部には把手3が、三角フレーム2の底辺を一周とする四角フレーム4の頂部にはキャスター5、6が取り付けられ、把手3を持って引き金体を昇めにしてキャスター8、9を駆動させれば移動できる。四角フレーム4はバスケット台の底面枠組と略同じ形状を有する四角形フレーム6内の四角中央部に固定を有して一体に連結され、四角フレーム4との間にバスケット台のローラーが挿入する室内部7、8が形成され、また、そのローラーの阻止部8、8がギルト9、9で遮断部

-2-

可能に取り付けられている。さらに、円筒形フレーム6のコーナー部には円筒体10、10がそれぞれ連結されている。円筒体10は、第2図に示したように、その端面中心に円筒形突出部の突起部11が形成され、且つ、その軸中心にはターバー部12、軸孔13、傾斜した穴部14、軸孔15、ターバー部16を有した軸孔17が穿設されている。上記軸孔18には、バスケット台の切頭円筒形に形成したスクリュウシャフトの下端部を挿入できるとともに、軸孔17には床金具22(第1図及び第9図参照)のねじを挿入できる。そして、円筒体10の側面には軸孔13の軸中心に向けて水平方向に軸孔18が穿設され、その軸孔18にはロックピン19が適当自在に挿入され、そのロックピン19は円筒体10の外端に突出して

-3-

-577-

-11-

その外縁部にストッパー20を有し、内周部には
 軸孔13に内へ突出する係合部21を有する。
 ロックピン19の係合部21はバスケット台の
 アウトリガーの下端部外周面に所定間隔で形成さ
 れたロック穴に係合できる。そして、上記突出部
 12は、バスケット台をバスケットコートの正確
 な位置に設置するために、床面に突出した床金具
 22のチーバー穴23に合致して進入できる。す
 なわち、床金具22は、第3図に示したように、
 床面24と同じレベルに固定した本体25にチー
 バー穴23とそのチーバー穴23の中心にねじ穴
 26を形成したものであって、そのねじ穴26に
 螺合するねじ27はチーバー穴23を覆って上面
 が本体25と同一レベルとなる円筒形の部材を有
 する。この床金具22は第1図に示したように、

体育館等の床面24におけるバスケットコートの
 ブールラインにおけるバスケット台の正確な位置に
 係合部において三角形の配置で固定されている。その
 ため、三角フレーム2の頂部近傍に係28を取り
 付け、その板28の中央部に上記ねじ27を穿通
 する通孔29が形成されている。

次に、上記設置室内設置の使用方法について説
 明すると、まず初めに、バスケット台を設置する
 体育館等の床面24に設置されている8個所の上
 記床金具22のねじ27をそれぞれ取外し、チ
 ーバー穴23を露出させる。そして、上記設置室
 内設置1を床面24を移動させてその床金具22
 と係合部21及び通孔29をそれぞれ合わせ、
 その円筒体10の突出部11をチーバー穴23に
 それぞれ嵌合させ、かつ、円筒体10の上部から

-11-

ねじ27を軸孔13、15を通過して軸孔17か
 らねじ穴26に挿入させて円筒体10、すなわち
 設置室内設置1を床面に固定する。そこで、第4
 図(A)に示したように、バスケット台30を床面
 24を移動させて設置室内設置1に移動させ、第
 5図(A)に示したように、その後部のローラー3
 1、31を室内部7、7に導き、車止め8、8まで
 移動させると、第6図に示したように、ローラー
 31、31のリム部32、32は室内部7、7の両
 側のフレーム41、61に乗り上げ、バスケット台
 30は床面24から持ち上がる。そのため、第5
 図(B)に示したように、バスケット台30のフ
 ーナー部にあるアウトリガー33、33のスクリュ
 ウシャフト34、34の下端部を、設置室内設置
 1のコーナー部にある円筒体10、10のロック

-12-

ピン19、19を予め引き出しておいて軸孔13、
 15にそれぞれ挿入すると、第7図に示したよう
 に、チーバー部12を介して案内されながら係合
 する。そこで、ロックピン19を内方へ押し込ん
 で、その係合部21をスクリュウシャフト34
 の前部外周面に形成されたロック穴35に進入し、
 第5図(B)に示したように、バスケット台30と
 設置室内設置1を固定する。かくして、第4図(B
)に示したように、バスケット台30は所定の位
 置に正確に固定されるのである。

次に、上記のようにして床面24に固定された
 バスケット台30を倉庫等に収納する場合は、ま
 ず初めに、バスケット台30の後部スクリュウシャ
 フト34、34を回転させて上昇させ、設置室内
 設置1の円筒体10からそれぞれ引き抜かなけれ

-13-

-14-

ばならないが、このとき、スクリュウシャフト34を回転させようとして、ロックピン19がロック穴85に係合しているため、スクリュウシャフト34は回転することができない。そこで、ロックピン19を外方へ引いて係合部21とロック穴85の係合を外し、スクリュウシャフト34を自由にして回転させる。かくして、バスケット台30と設置案内装置1の連動が解除されるので、バスケット台30を移動させてローラー31,31を案内部7,7から外部に引きだし、ローラー31,31が案内部7,7から床面24に乗り接するので、そのローラー31,31を介してバスケット台30を移動させる。ついで、床面24に設けた設置案内装置1を取り外すのであるが、これは、円筒体10と床金具22を遮断するねじ27

を回転して床面24から外して移動させればよい。換装したねじ27はチーバー穴12からねじ穴23に係合してその傾斜を床面24と同じレベルにしておく。

発明の効果

以上に記載したごとく、この発明によれば、バスケット台をバスケットコートの底面の正確な位置に設置するに際し、予めバスケットコートの所定の位置に設けた金具に設置案内装置を固定し、その設置案内装置の案内部に移動用車輪を導いてバスケット台を移動させて乗り上げさせ、かつ、そのアクトリガーを案内装置に連結すると、遮蔽固定等の困難なくして簡便迅速に、極めて正確な位置が調整且つ迅速にでき、設置作業に要する労力の負担を軽減することができる。また、バスケッ

-13-

ト台と設置案内装置を連結するアクトリガーのスクリュウシャフトの下端部にチーバー部を形成して設置案内装置の円筒体に係合し易くしてバスケット台と設置案内装置の連結作業を簡便且つ迅速にすることができるとともに、そのスクリュウシャフトの下端部外周面に所定の間隔でロック穴を形成し、このロック穴に係合可能なロックピンを円筒体に設けたので、ロックピンを引き出し操作しないかぎり、不用意にスクリュウシャフトを回転させようとすることがあっても、スクリュウシャフトを回転させることはできないために、金具を破損するようなこともなく、安全である、等の効果を奏する。

4. 図面の簡単な説明

第1図は斜視全体図、第2図は部分縦断面図、

-14-

第3図は床金具の縦断面図、第4図から第7図は作用説明図、である。

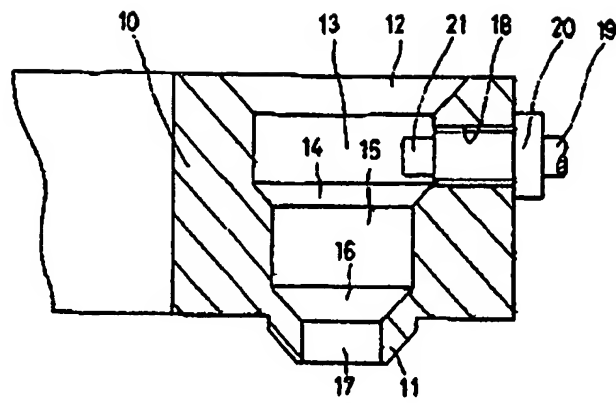
1…フレーム、2…三角フレーム、3…把手、4…四角フレーム、5…キャスター、6…四角形フレーム、7…案内部、8…車止め、10…円筒体、11…突出部、12…チーバー部、13,15,17…軸孔、19…ロックピン、28…チーバー穴、24…床面、26…ねじ穴、27…ねじ、30…バスケット台、31…ローラー、34…スクリュウシャフト、35…ロック穴

代理人 近賀 昭士 印

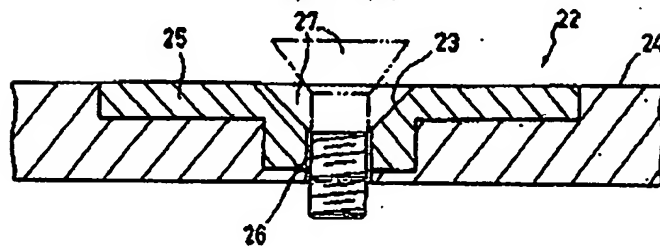
外 1 号



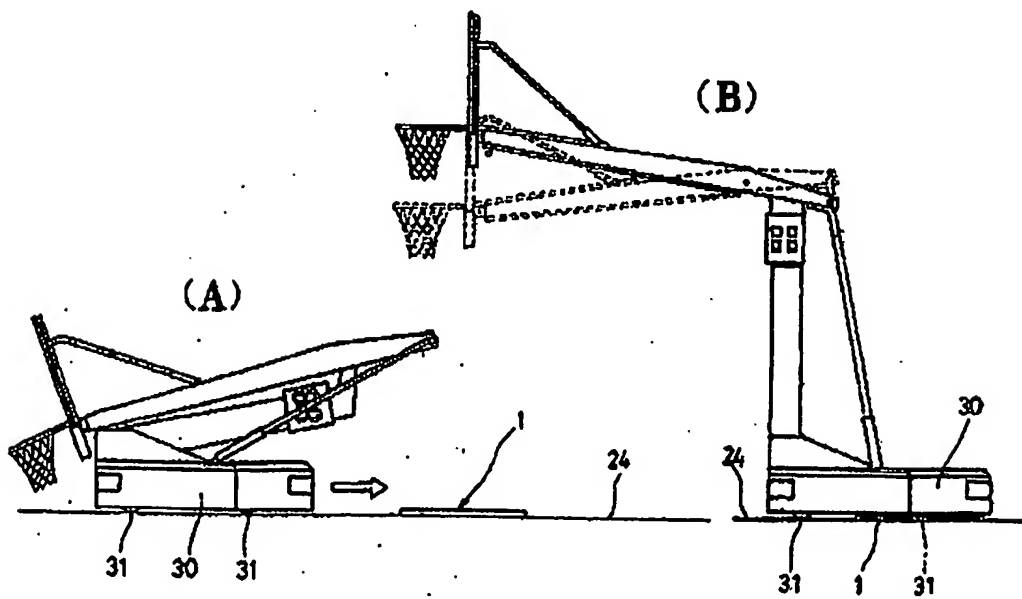
第 2 図



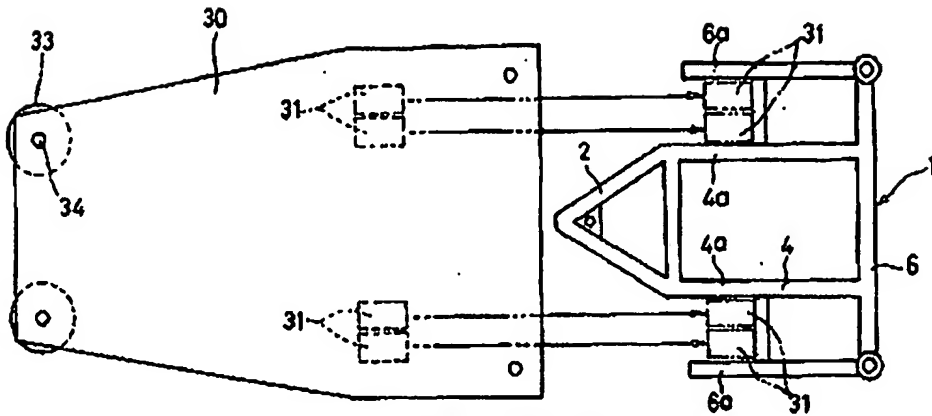
第 3 図



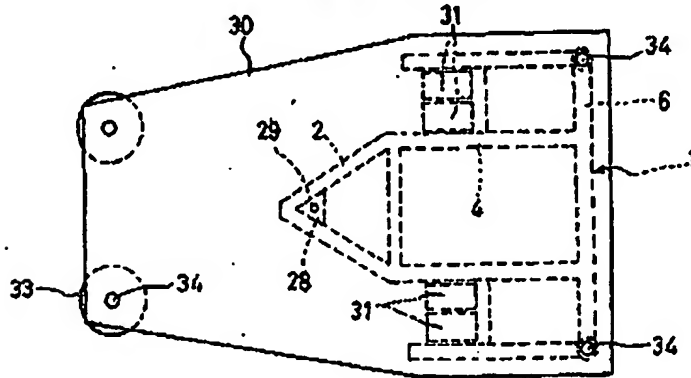
第 4 図



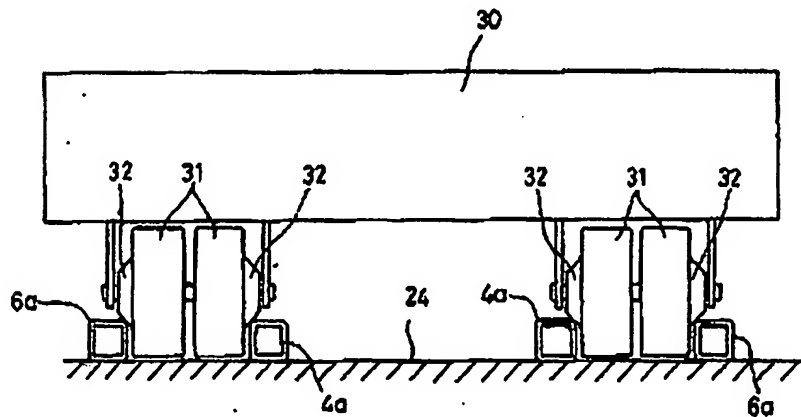
第 5 図 (A)



第 5 図 (B)



第 6 図



第 7 図

